

第 71 回全国理容競技大会「世界大会種目」要項

一. モデル

- (1) 使用するマネキンは自由。
- (2) モデル審査で毛髪のカットを受けることはない。プログレッシブスタイル、ローフェードカット、サロンカット&スタイル（ヘアピース）以外は、モデル審査時に洗髪後の状態である必要はない。
- (3) 【プログレッシブスタイル】のモデルには、3色以内の調和・統合のとれたヘアカラーを施していること。使用できるカラーは、白・黒・ブラウン・シルバー・赤のみ。
- (4) 【アヴァンギャルド】のモデルは、顔面に装飾を行うことが可能だが、マスクや装飾、ペイント等を行う場合は、顔全体の2割以内であること。
- (5) 【ローフェードカット】のモデルは、後頭下部からネックラインと耳周りより上が最低3cmあること。トップの髪の長さは自由。もみあげは事前にカットできる。ヘアカラーは黒のみ。パートが入っていないこと。
- (6) 【ロースキンフェードカット】のモデルは、後頭下部からネックラインと耳周りより上が最低1cmあること。トップの長さは自由。もみあげは事前にカットできる。ヘアカラーは黒のみ。
- (7) 【タトゥーデザイン】のモデルの髪、頭皮には、ハサミ、クリッパー、レザー、ペンシル、マーカーなど、目印、着色、下書き等がないこと。但し、デザインに合わせたヘアカラーを事前に施した場合は、ヘアカラーの境界線がタトゥーデザインのラインと重なっても差しつかえない。
- (8) 【サロンカット&スタイル（ヘアピース）】の土台となるマネキン、ヘアピースには、3色以内の調和・統合のとれたヘアカラーを施していること。使用できるカラーは、白・黒・ブラウン・シルバーのみ。土台のマネキンはトップの部分の部分を剃ることやカットなどのほか、接着剤や両面テープをつけるなど事前に準備できる。ヘアピースの底面は最少で17cm×23cmなければならない。ヘアピースの長さは最低8cmあること。
- (9) マネキンの底以外に、氏名等を書き込まないこと。
- (10) モデル審査では、事前登録した種目によって、モデル審査委員により毛髪を水スプレーで濡らされることがある。
- (11) 競技開始前にゼッケン番号を貼付したマネキンを選手が競技会場に搬入し、モデル審査を受けることとする。モデル審査中、選手は競技エリア外周で待機すること。
- (12) メイクチェックは選手が競技時間内に行うものとする。

二. 選手数

選手数は各組合1名とし、欠員がある場合は補充を行う場合がある。

三. 出場資格 組合員及びその従業員である理容師、または各都道府県組合が認める理容師養成校の理容科生徒。

四. 出場制限 出場は、他の全国大会種目と合わせて、1人1部門とする。

五. 表彰 上位3名（優勝、2位、3位）のみ表彰する。

六. 出場申込 大会出場料は8,000円（全国大会）。

競 技 事 項

1. 競技種目に関する事項

1 【プログレッシブスタイル】

- (1)競技規定 ①世界理容美容機構（OMC）が事前に示す参考作品傾向に沿ったプログレッシブスタイルであること。
- ②3色以内の調和・統合のとれたヘアカラーを施すこと。
- ③ハンドドライヤーと1つのブラシを使用してヘアスタイルを完成させること。
- ④トリミングを含めてカットは禁止。
- ⑤マネキンは整髪料のついていない洗髪後の状態で、競技エリアに搬入するときには十分に濡らしていること。
- ⑥競技終了のタイムコールの後、マネキンに衣装を着せるための3分間の展示時間が与えられる。展示時間中は、衣装の装着、角度の調整のみを行うことができ、毛髪に触れることはできない。
- (2)競技時間 セット 20 分。
- (3)用具 ハンドドライヤー、ブラシ（1本のみ）
- (4)整髪料 自由。

2 【アヴァンギャルド】

- (1)競技規定 ①創造性を感じさせるヘアスタイルであること。ただし、ファンタジーや未来的な髪型ではない。
- ②選手はスタイリングの終わったマネキンを競技エリアに搬入し、衣装の装着、角度の調整を行うこと（毛髪に触れることはできない）。
- (2)設置時間 3 分。
- (3)用 具 カット用具、セット用具とも使用禁止。
- (4)整髪料 使用禁止。

3 【ローフェードカット】

- (1)競技規定 ①OMCが事前に示す参考作品傾向に沿ったフェードスタイルであること。
- ②パートを競技時間内にカットすること。ストラクチャーのようなデザインは禁止。
- ③黒髪であること。
- ④ヘアと衣装をトータルコーディネートすること。
- ⑤マネキンは整髪料のついていない洗髪後の状態で、競技エリアに搬入するときには髪のコップが十分に濡れていること。
- ⑥競技終了のタイムコールの後、マネキンに衣装を着せるための3分間の展示時間が与えられる。展示時間中は、衣装の装着、角度の調整のみを行うことができ、毛髪に触れることはできない。
- (2)競技時間 カット・セット 30 分。
- (3)用具 自由。
- (4)整髪料 自由。

4 【ロースキンフェードカット】

(1)競技規定 ①OMCが事前に示す参考作品傾向に沿った、後頭骨エリアよりも低いスキんフェードスタイルであること。パートは任意だが、ストラクチャースタイルは禁止。

②仕上がりは、一般消費者を意識したコマーシャル（商業的）スタイルであること。

③黒髪であること。

④スタイリングはフィンガースタイリングのみで、ハンドドライヤーを含むすべての用具の使用は禁止。

⑤ヘアと衣装をトータルコーディネートすること。

⑥マネキンを競技エリアに搬入するときには髪のプロップが十分に濡れていること。

⑦競技終了のタイムコールの後、マネキンに衣装を着せるための3分間の展示時間が与えられる。展示時間中は、衣装の装着、角度の調整のみを行うことができ、毛髪に触れることはできない。

(2)競技時間 カット・セット 20分。

(3)用具 すべてのカット用具の使用が可能だが、すべてのセット用具の使用が不可。

(4)整髪料 自由。

5 【タトゥーデザイン】

(1)競技規定 ①レザーやクリッパー、ハサミなどを使い、モデルの頭部にタトゥーのようなデザインを施すこと。認められるデザインは、抽象的なデザイン、花、建築のデザイン。

②マネキンを競技エリアに搬入するときは、ウェット、ドライは自由。

③競技終了のタイムコールの後、マネキンに衣装を着せるための3分間の展示時間が与えられる。展示時間中は、衣装の装着、角度の調整のみを行うことができ、毛髪に触れることはできない。

(2)競技時間 カット・セット 25分。

(3)用具 自由。

(4)整髪料 自由。

6 【サロンカット&スタイル（ヘアピース）】

(1)競技規定 ①マネキンとヘアピースの調和がとれたサロンスタイルであること。

②3色以内の調和・統合のとれたヘアカラーを施すこと。

③土台となるマネキンを競技エリアに搬入するときには、フォームでオールバックにすること。ヘアピースは整髪料についていない洗髪後の状態で、競技エリアに搬入するときには、十分濡れた状態で、テーブルに置くこと。

④競技終了のタイムコールの後、マネキンに衣装を着せるための3分間の展示時間が与えられる。展示時間中は、衣装の装着、角度の調整のみを行うことができ、毛髪に触れることはできない。

(2)競技時間 カット・セット 35分。

(3)用具 自由。

(4)整髪料 自由。

2. 禁止事項

- ①モデル審査後、競技準備時間中、競技終了後（展示時間は除く）にマネキンに触れること。展示時間中にマネキンの毛髪に触れること。
- ②ヘアアクセサリ、つけ毛等をマネキンに装着すること。（ヘアピース競技は除く）
- ③カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。
- ④電気機器を複数台コンセントにつなぐこと。

3. 刈布・タオル等の取扱い

使用は自由。使用する場合は、競技開始の合図後につけること。

4. 失格事項

次に掲げる項目に該当する場合は失格とする。

- (1)所定の技術及び髪型に適合しない場合。
- (2)競技時間を超過した場合。
- (3)所定の用具、整髪料以外のものを使った場合。
- (4)競技終了後、修正を行った場合（展示時間中の衣装、角度の調整は除く）。
- (5)モデル審査を受けていないモデルを使った場合。
- (6)モデルに傷を与えた場合。
- (7)禁止事項を守らない場合。
- (8)競技完了の表示を行わなかった場合（アバンギャルドは除く）。
- (9)監視委員の指示に従わなかった場合。

5. 競技完了の表示

一步後方に退いた後、手を挙げて行うこと。刈布、タオルを使用した場合は、モデルから刈布、タオルを完全にとりはずしてから一步後退し、挙手すること。アバンギャルドは完了の表示を行わなくてよい。

審査事項

1. 審査要項〈審査の基準〉

1 【プログレッシブカット】

- ①OMCが事前に示す参考作品傾向に沿ったプログレッシブスタイルであるかをみる。
- ②3色以内の調和・統合のとれたヘアカラーであるかをみる。
- ③モデルの顔にあったフォルムであるかをみる。
- ④トータルバランスをみる。

2 【アヴァンギャルド】

- ①ファンタジーや未来的な髪型ではない、創造性を感じさせるヘアスタイルであるかをみる。
- ②トータルバランスをみる。

3 【ローフェードカット】

- ①OMCが事前に示す参考作品傾向に沿ったフェードスタイルであるかをみる。
- ②フェードの美しさをみる。
- ③モデルの顔にあったフォルムであるかをみる。
- ④パートが施されているかをみる。ストラクチャースタイルでないかをみる。
- ⑤黒髪であるかをみる。
- ⑥ヘアと衣装がトータルコーディネートされているかをみる。
- ⑦トータルバランスをみる。

4 【ロースキnfフェードカット】

- ①OMCが事前に示す参考作品傾向に沿った、後頭骨エリアよりも低いスキnfフェードスタイルであるかをみる。ストラクチャースタイルでないかをみる。
- ②仕上がりは、一般消費者を意識したコマーシャル（商業的）スタイルであるかをみる。
- ③スキnfフェードの美しさをみる。
- ④モデルの顔にあったフォルムであるかをみる。
- ⑤黒髪であるかをみる。
- ⑥ハンドドライヤー等を使わないフィンガースタイリングの質感が表現されているかをみる。
- ⑦ヘアと衣装がトータルコーディネートされているかをみる。
- ⑧トータルバランスをみる。

5 【タトゥーデザイン】

- ①モデルの頭部にタトゥーのようなデザインがバランスよく施されているかをみる。
- ②抽象的なデザインまたは、花、建築のデザインであるかをみる。
- ③トータルバランスをみる。

6 【サロンカット&スタイル（ヘアピース）】

- ①マネキンとヘアピースの調和のとれたサロンスタイルであるかをみる。
- ②3色以内の調和・統合のとれたヘアカラーであるかをみる。
- ③トータルバランスをみる。

【モデル審査】

大会要項 3. モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

2. 審査時間 30 分以内（モデル審査時間を除く）。

3. 審査委員打合せ 審査委員は審査委員打合せに出席しなければならない。

4. 採点および審査の方法

(1)採点は「世界大会強化種目」内の 6 競技種目全体で行い、相対評価ではなくすべて絶対評価で行う。

(2)採点は 100 点満点制とし、所定の審査表により行う。

(3)得点数が同じときは、審査委員長がその順位を決定する（委員長の採点は精算に加えないものとする）。

(4)モデル審査、仕上がり審査とも必ずテーブルに固定のクランプにマネキンを固定して受けること。但し、サロンカット&スタイル（ヘアピース）のモデル審査は、テーブル上で受けること。

5. 審査表の取扱い

(1)審査委員は各審査終了後、速やかに審査表（モデル審査表を含む）を審査委員長に提出するものとする。

(2)不完全な審査表があった場合、審査委員長はその審査委員の採点をその部門を通じて無効とする。

(3)審査委員長は審査終了後、速やかに審査表（モデル審査表を含む）を精算委員長に提出するものとする。

6. その他

タイムコール・タイム票の取扱いは次によるものとする。

(1)タイムコールは全体共通ではなく、競技エリア内で 6 種目それぞれ別に行う。

(2)タイム係はタイム票に選手の競技時間を正確に記録し、タイム係長に提出するものとする。

(3)タイム係長はタイム票をとりまとめ、審査委員長に提出するものとする。